

＜セミナープログラム＞

「キセノン同位体分析が語る福島3号機の核爆発

ーCTBT リッチランドのデータを用いたロシア科学者の考察に寄せてー」

室田武さん

【要旨】 東電福一原発事故に関し、3号機については当初から核爆発説がある。本発表は、ロシアのセルゲイ・パホモフらが、包括的核実験禁止条約（CTBT）科学・技術2013年会議（オーストリア）で発表した論文がこの説に符合することを紹介し、若干のコメントを付加する。

「畜産分野での温室効果ガス（GHG）実質ゼロは達成可能か？」

安藤直彦さん

【要旨】 自動車排ガスよりも多いとされる、畜産分野での温室効果ガスの抑制については日本ではほとんど議論されていない。牛肉の6割、飼料の90%を輸入に頼っている日本でも、無視できない問題である。実状をさぐってみた。

「エネルギー量的価値で見た日本経済の過去と未来」

青木秀和さん

「『省電力』という誤解」

田中良さん

【要旨】 トップランナーモータ（高効率電動機）を例に『省電力』を再考する。モータは厳密に言えば「負荷」ではない。確かに発電機に対しては直接的な負荷ではあるが、真の負荷は、モータによって駆動されるポンプやファンなどである。このことを忘れてモータ単体の効率向上を図っても省電力にはならないことを示し、電力問題に対する新たな問題提起としたい。

「社会的連帯経済のグローバルな展開」

丸山茂樹さん

【要旨】 悪しきグローバリゼーションに対するオルタナティブな政策と実践を提唱し、交流してきた GSEF（グローバル社会的経済フォーラム）は、ソウル（韓国）→ モントリオール（カナダ）→ ビルバオ（スペイン）へ広がっている。